

「愛国心」は校長自らが道徳授業で教えよう

副塾頭 長野 藤夫

(小清水町立小清水中学校長)

1

中学校学習指導要領に、次のようにある。

日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。

道徳の価値項目「4－(9)」である。

当然のことではあるが、これはすべての学年・学級で道徳授業として取り扱わなければならないことになっている。

しかも、教育基本法第2条で、

伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

として、ほぼ同じ文言で「教育の目標」の一つに掲げられているほどの事項である。そう考えると、中学校学習指導要領で示されている24の価値項目の中で、「4－(9)」は最も重要な価値項目であると位置づけていいだろう。つまり、「愛国心」は、道徳性を養うための出発点なのである。まさに、「愛国心なくして道徳なし」である。

だが、教師には力量のある者となない者とがいる。力量のある者でも、この主題をきっちりと授業できるほど力量のある教師は、極めて少ない。

ならば、ここは一校を預かる責任者としての姿勢を示さなければならない。

「愛国心」は、校長自らが教えるべき

なのだ。

これは、「生徒に教える」だけにとどまらない。「教師にも教える」ことになるのである。そうすることで、「愛国心」を授業できる力量のある教師が育っていく。学習指導要領で定められている、

「道徳の時間における指導に当たっては……校長や教頭などの参加」

というのは、このような意味なのである。

今年度、次のような計画を立てた。

- ①校長が全学級で道徳授業を行う。
- ②各学級とも、学期に1回ずつとする。
- ③3年生については、3学期に2回授業を行う。

6学級で、計20時間の授業を行う。その内容も、すでに決めてある。

- 1学期＝「元号」の授業（発達段階の関係で、1年生のみ別内容とする）
- 2学期＝「国歌」の授業
- 3学期＝「国旗」の授業（3年生は、もう1時間を別の内容で行う）

である。

このような計画としたのは、

「国旗」、「国歌」、「元号」こそが、我が国の「国家」としての根幹を成す。

ものだからである。

「元号」の授業の概要を示す。



(記入式のプリント配布)

指示 1 まず、日付と名前を書きなさい。

資料音読（複数指名）後、簡単な確認。

日出處天子

致書日没處天子。

無恙。

(日出ずる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙無しや)

「一緒に読みます。さん、ハイ」

《確認事項》

- ①誰から誰に宛てた文書か。
- ②誰が作った文書か。

指示2 ここで日付を発表してもらいます。

発表（列指名）後、「元号を使って書いた」生徒と「西暦で書いた」生徒の分布確認（挙手）。ほとんどの場合、「西暦」が多い。

発問1 まず、元号を使った人。なぜ元号で書いたのですか。次に、西暦を使った人。なぜ西暦で書いたのですか。それぞれ①に書きなさい。

発表（列指名）。

発問2 今年は、西暦2012年です。西暦とは、何を基準にした年の数え方なのですか。②に書きなさい。

発表（列指名）。

《問答1》

①キリストが生まれる以前の年をどう表記しているか。

②BCとは何の略か。

③「Before Christ」をどう訳すか。

④キリストが生まれた後の年をどう表記するか。

⑤ADとは何の略か。

⑥「Anno Domini」をどう訳すか。

「主しゅの年ねんに（で）」。「主しゅ」はキリストを指している。西暦はキリストが「ご主人様」ということ。もともとはキリスト教信者のためのものである。

発問3 我が国が使っている元号は、いつから使われているのですか。「何年ぐらい前から」でかまいません。③に書きなさい。

発表（列指名）。

《問答2》

①我が国の最初の元号は何か。

②元号が恒常的に使われ始めた大宝元年、つまり西暦701年の重要な出来事は何か。

③我が国が、「日本」という国号を対外的に初めて使用したのはいつか。

大宝2年、つまり元号を恒常的に使い始めて最初の遣唐使が、唐に対して「我が国は『日本』という国号とした」ということを通告している。元号使用と同時である。

発問4 「日出處天子致書日没處天子。無恙」随の皇帝は、これを読んで激怒しました。どの言葉に激怒したのでしょうか。④に書きなさい。

発表（列指名）。

一つ目の「天子」である。

発問5 なぜその言葉に激怒したのですか。⑤に書きなさい。

発表（列指名）。

「天子」は自分しかいないのに。属国のくせにけしからん。これでは対等になってしまう。

《問答3》

①隣国・朝鮮半島の国々は、どのような元号を使っていたか。

随や唐など、当時の中国の元号。

②朝鮮半島の国々は、なぜ中国の元号を使っていたのか。

属国だったから。

発問6 独自の元号を使うというのは、我が国にとってどのような意味があったのですか。⑥に書きなさい。

発表（列指名）。

「独立の気概」、「対等の意識」、「国としての誇り」である。

語り

元号とは、先人たちの独立と気概の証であり、我が国の誇りなのです。古代の東アジアで、「国家」と「国家」との関係というのは、たいへんなものでした。食うか食われるか、支配されるかされないかという、実に厳しい時代だったのです。

鎌倉時代に元寇がありました。文永の役、弘安の役。当時の中国の国家であった元が、大軍で我が国に押し寄せてきたのです。大変な戦いでしたが、攻めてきた元軍の半数近くは、実は朝鮮半島の中から駆り出された人々でした。当時の朝鮮半島には「高麗」という国があったのですが、中国の属国でした。それが属国というものの悲しさなのですね。

そのような中で、我が国はただの一度も他の国に支配されることなく、独立を保ってきました。強大な大陸の国とも、我々のご先祖様は対等外交を貫いてきたのです。

「日本」という国号の公表とともに、現代まで1300年以上脈々と続いている「元号」は、そんなご先祖様の独立と気概の証であり、我が国の誇りなのですね。

ここで、昭和63年1月7日に行われた小渕官房長官の記者会見の映像を流す。

この映像は、今の元号である「平成」が決定した時のものです。「平成」とは、我が国にとって231番目の元号になります。

「平成」の意味は、こういうことなんですね。（内外、天地とも平和が達成される）

「心のノート」126ページを開きます。

（該当ページを読む）

君たち一人一人は、気概と誇りある日本人の後継者なのです。

もう一度、改めて。元号の意味とは。。。 「独立と気概の証」であり、「我が国の誇り」なのですね。

ハイ、日付を書き直したくなった人、いるでしょう。いいんですよ。書き直しても。

指示3 授業の感想を⑦に書きなさい。



聖徳太子に始まる「気概の対等外交」、そして「独立の誇り」を示す独自の「元号」と「日本」という国号。

まずは、そのような歴史を「元号」を中心にしっかりと生徒に教える。それが、

「愛国心教育」の第一歩

なのである。

その役割を担うのは、一校の最高責任者である校長の重要な仕事である。

なお、私の道徳授業は全国民に公開している。参観希望者は、小清水町立小清水中学校・長野までご連絡いただきたい。